

津田 学（大学院保健福祉研究科兼務）

1 著書

- 1) M, Tsuda M., Aigaki T. Understanding the Functions of Longevity Genes in *Drosophila* (2022) *Aging Mechanisms* IISBN 978-981-16-7977-3 (eBook)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般財団法人 大学教育質保証・評価センター 評価委員

7 学会等での活動

- 1) 日本分子生物学会
- 2) 日本ショウジョウバエ 研究会

8 学内教育活動

- 1) 細胞生物学（栄養学科）
- 2) 細胞生物学（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 3) 生物学基礎実験（栄養学科）
- 4) 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 5) 分子生物学
- 6) バイオテクノロジー基礎実験 他

9 学内各種委員会活動

- 1) 1) 総務企画委員会委員
- 2) 2) 学科長会議委員
- 3) 3) 学長補佐会議委員
- 4) 4) 教育研究審議会委員
- 5) 5) 合同会議(役員会・経営審議会・教育研究審議会)委員
- 6) 6) COI 委員会委員
- 7) 7) 地域貢献研究センター運営会議委員
- 8) 8) 人総学科内専任教授会議長
- 9) 9) 人総学科会議議長 他

木村 芳滋（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本医用マスペクトル学会評議員
- 2) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会)
国際コンビナー，国内主査
- 3) 日本学術振興会 R026 先端計測技術の将来設計委員会 委員

7 学会等での活動

- 1) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 総会
(イタリア，オンライン)発表 “ISO/TC201/WG4: Standardization of Surface Characterization of Biological Materials”

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理委員会 委員長
 - ・ 学内手引きの改訂
 - ・ 学内研究倫理審査研修会担当 など

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B(奨励研究)
「線虫 C.エレガンスを用いた質量分析イメージング法 (IMS) による感覚線毛の形態・機能分析」助成額 480,473 円.

14 その他

- 1) 国際共同研究
 - Abdullah Gül 大学 (トルコ) Oktay Kaplan 博士 「線虫の細胞内輸送解析」
 - アイルランド国立大 Oliver Blacque 准教授 「線虫のチューブリン翻訳後制御解析」
 - コロンビア大学(米国)Martin Chalfie 教授 「線虫運動ニューロンの IMS 解析」
- 2) 国内共同研究
 - 浜松医科大学 瀬藤光利教授 「線虫の質量分析イメージング」
 - 成蹊大学理工学部 青柳里果教授 「線虫の TOF-SIMS 解析」
 - 東京大学薬学部 浦野泰照教授 「線虫 IMS 解析に用いるマーカーの開発」
 - アルバックファイ株式会社 「高解像度質量分析イメージングによる線虫 C.エレガンスの細胞構造解析」

関 勝 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 関 勝. リハビリテーション医学 (第4版・第8刷). 医歯薬出版, 東京, 2022
- 2) 関 勝. 理学療法士作業療法士必修ポイント. 医歯薬出版, 東京, 2022
- 3) 関 勝. はじめての講義 リハビリテーション概論のいろは. 南江堂, 東京, 2022
- 4) 関 勝. 標準リハビリテーション医学第4版 (医学部教科書). 医学書院, in press

2 学術論文

- 1) Seki M. Paradigm shift in rheumatoid arthritis affects education in rehabilitation-related profession. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, in press

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ISPRM (The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine) potential Editorial Reviewer
- 2) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 3) ICME (institute of complex medical engineering) councilor
- 4) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer
- 5) JJCRS: Editorial Board
- 6) 厚生労働省 (公益財団法人柔道整復研修試験財団) 国家試験委員会・幹事委員 (柔道整復師)
- 7) 厚生労働省 (公益財団法人社会福祉振興試験センター) 国家試験委員会委員 (介護福祉士)
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員再選
- 9) 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 10) 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 11) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 12) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 13) 日本小児リハビリテーション学会評議員就任
- 14) 慶應義塾大学医学部・慶應医学会オフィシャルメンバー
- 15) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学 SIG メンバー
- 16) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・脊髄障害 SIG メンバー
- 17) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学医学部非常勤講師 (リハビリテーション医学)
- 2) 慶應義塾大学医学部・大学院医学研究科非常勤講師
- 3) 慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師
- 4) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師 (スポーツマネジメント専攻)
- 5) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会代議員

- 6) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 7) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医認定試験委員会特別委員
- 8) 日本小児リハビリテーション学会評議員
- 9) 神奈川リハビリテーション研究会幹事
- 10) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 11) 学校法人日本医療科学大学保健医療学部非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 12) 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室および大学院医学研究科・慶應義塾大学看護医療学部および慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科スポーツマネジメント専攻・埼玉医科大学国際医療センター・その他国公立大学・病院・医院との教育・研究コンサルテーション等連携実践

6 講演、放送

- 1) 「脳血管障害・多職種連携セッション」座長，第59回公益財団法人日本リハビリテーション医学会学術集会，2022，横浜

7 学会等での活動

- 1) 21th ICME (institute of complex medical engineering) Council Meeting (2022)
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 2022 年度代議員総会，京都・東京
- 3) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会(2022)，横浜
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション秋季医学会 2022 年度代議員選挙再選
- 5) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会（横浜）プログラム委員（2022）
- 6) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会（横浜）演題査読委員（2022）
- 7) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会（横浜）座長（2022）
- 8) 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会（福岡）プログラム委員（2022）
- 9) 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会（福岡）演題査読委員（2022）
- 10) 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会（福岡）教育講演委嘱（2022）
- 11) 日本小児リハビリテーション学会（2022），横浜
- 12) Stroke2022；第47回日本脳卒中学会学術集会（2022），大阪
- 13) Stroke2022；第51回日本脳卒中の外科学会学術集会（2022），大阪
- 14) Stroke2022；第37回 spasm symposium（2022），大阪
- 15) 第86回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会・療法医更新（2022），長野
- 16) 第19回三浦半島リウマチのトータルケア懇話会（2022），横須賀
- 17) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人（2022），横須賀
- 18) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事（2022），神奈川
- 19) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医・特別試験委員（2022），東京
- 20) 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室および大学院医学研究科・慶應義塾大学看護医療学部および慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科スポーツマネジメント専攻・埼玉医科大学国際医療センターとの教育・研究コンサルテーション等連携実践

8 学内教育活動

1) 2022 年度全担当科目講義視聴覚教材製作・科目責任者等

以下全担当科目

(看護) 疾病と治療 I

病態治療学

(栄養) 臨床医学概論

(社福) リハビリテーション論

(リハ PT 専攻・OT 専攻) リハビリテーション概論

リハビリテーション医学

神経内科学

脳神経外科学

整形外科学 I

整形外科学 II

2) 大学院博士後期課程科目・多職種連携システム開発演習委嘱

9 学内各種委員会活動

1) FD・SD 委員会委員長

2) 内部質保証推進部会委員

3) 教員選考委員会委員

4) 入学試験（推薦帰国社会人・センター・前期および後期入試）面接・業務委員

5) 教授会構成員

6) 各 FSD 講演参加

7) 研究倫理コンプライアンス教育研修実施

8) 教員昇任審査学科内委員会委員

9) 学科専任教授会構成員・学科会議構成員・書記

10) その他学事等関連会議等

13 特許など

1) 一般社団法人日本臨床神経生理学会・専門医資格更新

2) 一般社団法人日本臨床神経生理学会・専門技術師資格更新

3) 一般社団法人日本温泉気候物理医学会・療法医資格更新

4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・指導医資格更新

成 耆鉉

7 学会等での活動

- 1) 日本分子生物学会
- 2) 日本ショウジョウバエ研究会
- 3) 第 67 回日本応用動物昆虫学会大会発表予定「コーヒー抽出かすを利用したアメリカミズアブ幼虫大量飼育法の開発」藤田弥佳 1・劉 家銘 1・成 耆鉉 2・松井正人 3・小林徹也 1・霜田政美 4・安田哲也 1(1.農研機構 2. 神奈川県立保健福祉大学 3.清水建設株式会社 4.東京大学)、2023 年 3 月
- 4) An image analysis for automatic detection of social interaction between drosophila: biased courtship behavior Tasuku Arai, Ki-Hyeon Seong and Siu Kang The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology(JSST2022)、2022 年 9 月

8 学内教育活動

- 1) 生理学Ⅰ（リハビリテーション学科）
- 2) 生理学Ⅱ（リハビリテーション学科）
- 3) 生体機能学（栄養学科）
- 4) 体のしくみ（看護学科）
- 5) 生理学実習（リハビリテーション学科）
- 6) 生体機能学実験（栄養学科）他

9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献 C 研究部門:部門長
- 2) 動物部門専門部会委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 生きた昆虫の透明化技術の確立とその応用の研究、挑戦的研究(開拓)、19,700 千円、(2022 - 2027)、代表者
- 2) 「個体ごとの一生を自動記録する「ショウジョウバエ個体別活動自動測定システム」の開発と、このシステムを用いた測定、そしてその応用技術の開発①」AMED-CREST「全ライフコースを対象とした個体の機能低下機構の解明」、(3,500 千円 2022 年度分) (2017-2022)、研究開発分担者

生田 倫子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Fear of COVID-19 infection and related factors in Japan: A comparison of college students, pregnant women, hospital nurses and the general public; Kohei Koiwa, Koubun Wakashima, Michiko Ikuta, Keigo Asai, Gen Takagi 2022,7. Public Library of Science (PLoS), 10.1371/journal.pone.0271176.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本心理臨床学会，支援活動委員，
支援活動委員として，震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている。
2013年12月～現在
- 2) 日本家族心理学会，常任理事，編集委員。
常任理事会に年7回出席し，学会運営業務を行っている。2007年6月～現在
- 3) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会，事務局長，常任理事.)
事務局長として，学会の運営業務を行っている。2011年8月～現在
- 4) 日本ブリーフセラピー協会，常任理事。
常任理事会に，年6回出席し，学会運営業務を行っている。2007年4月～現在
- 5) 内閣府青少年インターネット環境整備企画分析委員会委員
- 6) 横浜市教育委員会学校課題解決支援事業専門家

5 社会貢献

- 1) 北海道医療大学非常勤講師『心理支援に関する理論と実践』『家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践』
- 2) 社会福祉法人児童養護施設手まり学園 研修・スーパーヴァイズ・コンサルテーション

6 講演，放送

- 1) 海上保安庁第三管区海上保安本部 メンタルヘルス講習会 講師
- 2) 海上保安庁第三管区保安本部・横浜海上保安部・横須賀海上保安部 メンタルヘルス研修、セクハラ・パワハラ講習会 講師
- 3) 東京都特別区職員研修所事業 「中堅保育士」講師
- 4) 横浜市西部児童相談所家族療法事業事例検討会 講師

8 学内教育活動

- 1) 学部
心理学, 教育心理学, 発達心理学, 人間発達学, 文献検索とクリティーク, 教職実践演習 (養護教諭), 総合演習 (養護教諭)

2) 大学院

コンサルテーション論（博士前期課程）

対人援助特論（博士後期課程）の講義

博士後期課程院生の副指導教員

3) その他

国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問

ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問

9 学内各種委員会活動

1) 研究科運営委員会委員 通年

2) 人権倫理委員会

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

科学研究費補助金（基盤研究 C）「災害避難家族受け入れ親族のメンタルヘルス調査と心理的支援ガイドラインの作成」 研究代表者 生田倫子 研究経費 令和 3 年度 900 千円、令和 4 年度 900 千円、令和 5 年度 300 千円

城川 美佳（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Ogasawara R, Yamanaka H, Kobayashi J, Tomokawa S, Sugita E, Hirano T, Kigawa M, Nishio A, Akiyama T, Nam EW, Gregorio ER Jr., Estrada CAM, Thongthien P, Kanyasan K, Devkota B, Hun J, Ma Y, Yamamoto BA. (2022). Status of school health programs in Asia: National policy and implementation. *Pediatrics International*, 64, e15146.
- 2) Izukura S, Ishibashi Y, Ampo Y, Kigawa M, Horiguch I. (2022). The actual status of users of supplements and health foods: questionnaire-based study in Japan. *Jpn J Health & Human Ecology*. 88(3), 84-97
- 3) Kigawa M, Tsuchida A, Matsumura K, Kasamatsu H, Tanaka T, Hamazaki K, Adachi Y, Inadera H, The Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. (2022). Predictors of non-response to successive waves of surveys in the Japan Environment and Children's Study during the 3-year postpartum period: A longitudinal cohort study. *BMJ Open*, 12, e050087.
- 4) Tsuchida A, Kigawa M, Matsumura K, Ito M, Tanaka T, Hamazaki K, Inadera H. (2022). Provision of educational events and subsequent questionnaire response rates in a large-scale birth cohort study from Japan. *BMJ Open*, 12, e064229.

3 その他の著作

- 1) 城川美佳. (2022). 嵐の中に佇む. *日本健康学会誌*, 88(5), 163-164.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本健康学会，理事，学会運営に関与する，通年
- 2) 国際学校保健コンソーシアム，事務局委員，コンソーシアムの運営等に関与する，通年
- 3) 神奈川県調理師試験委員会，委員，神奈川県調理師免許の試験問題の作成・検討を行う，通年
- 4) 横須賀市生活環境保全審議会，委員，横須賀市の生活環境保全について検討する，通年
- 5) 特定非営利活動法人訪問看護ステーションコスモス，理事，団体運営に関与する，通年
- 6) 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ，理事，団体運営に関与する，通年
- 7) 特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター，第10回ウェルフェアデザインコンテスト実行委員，当該コンテストの企画・応募作品の評価を担当した，通年

5 社会貢献

- 1) 令和4年度スーパーサイエンスハイスクール事業による神奈川県立横須賀高校2年生生徒への研究指導，通年
- 2) 東京都台東区山谷地区における路上生活者等への健康相談会にボランティアとして参加，通年(毎月第4土曜日に実施)

7 学会等での活動

- 1) 令和3年度スーパーサイエンスハイスクール事業で行った高校生の研究成果について発表指導を行った。その成果は第30回日本健康教育学会学会学術大会(2022.7., 栃木県)にて発表となった。城川美佳, 他. (2022). 新型コロナウイルスワクチンに対する態度～高校生による検討～。
- 2) 日本行動計量学会第50回大会(2022.8., 那覇市)にて研究成果「出生コホート研究参加女性への質問票調査における未回収関連要因の検討～子どもの健康と環境に関する全国調査参加協力者を対象に～」を発表した。
- 3) 第81回日本公衆衛生学会総会(2022.10., 甲府市)にて研究成果「出生コホート研究参加女性における産後1年間での質問票未回収の関連要因」を発表した。
- 4) 第81回日本公衆衛生学会総会(2022.10., 甲府市)にて自由集会「CovID-19パンデミック対応の課題と工夫を共有しよう」を主催した。
- 5) 日本学校保健学会第68回学術大会(2022.11., 和歌山市)にて研究成果「教員養成機関におけるESD推進のための「栄養不良の二重負荷」に関する授業研究の成果と課題」の発表に共同演者として参加した。
- 6) 第37回日本国際保健医療学会学術大会(2022.11., 豊川市)にて研究成果「日本型保健教育の途上国での展開可能性と課題：栄養不良の二重負荷についての教材開発」を発表した。
- 7) 第37回日本国際保健医療学会学術大会(2022.11., 豊川市)にて研究成果「日本型の保健教育の途上国での展開可能性と課題：教員養成機関におけるワクチン教育のための教材開発」の発表に共同演者として参加した。

8 学内教育活動

- 1) 統計学(学部全学科1年生対象, 前期開講)を科目責任者として講義を担当し、講義資料およびグループワークのための資料を作成した, 2022.4-8.
- 2) 疫学・社会調査(学部看護学科2年生対象, 社会福祉学科・リハビリテーション学科は選択, 前期開講)を科目責任者として対応し、また疫学と社会調査(量的調査)の講義を担当した。講義資料およびグループワーク用資料を作成した。2022.4-8.
- 3) 保健医療福祉論Ⅰ(学部全学科1年生対象, 前期開講)の「保健医療福祉システムにおける「保健」の役割」「保健医療福祉システムにおける「医」の役割」の講義を担当した。2022.4.18, 2022.4.25.
- 4) 公衆衛生学(学部看護学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科1年生対象, 後期開講)を科目責任者として講義を担当し、講義資料およびグループワーク用資料を作成した。また、実務者をゲストスピーカーとして招聘し「路上生活者の健康」「在日外国人の医療」について講義を行った。2022.10-2023.1.
- 5) 文献検索とクリティーク(学部全学科1年生対象, 後期開講)のうち、社会福祉学科Bグループの講義(8回)を担当し、講義資料の作成とグループワーク指導を行った。
- 6) 研究法Ⅰ(大学院保健福祉学研究科前期課程対象, 前期開講)を担当し、講義資料を作成した。2022.4.-8.
- 7) 研究法Ⅱ(大学院保健福祉学研究科前期課程対象, 後期開講)を科目責任者として対応し、また量的研究の講義を担当した。講義資料を作成した。2022.10-2023.1.

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員, 通年
- 2) 大学院入試委員, 通年
- 3) 学内実習ステーション WG 委員, 2023.2.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 城川美佳, 日本に中長期滞在する外国人に対する結核予防教育のあり方の検討～ネパールを対象に～, 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般), 3,300,000 円, 2020～2023 年度
- 2) 城川美佳, ケイパビリティ (潜在能力) の保障のためのアジアの就学前児の発育発達評価方法の開発 (研究代表者: 友川幸), 科学研究費助成事業 挑戦的研究 (萌芽), 258,372 円, 2022 年度
- 3) 城川美佳, 後開発途上国の ECD における健康増進活動の可能性と課題: 人間の安全保障の観点から (研究代表者: 三宅公洋), 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般), 250,000 円, 2022 年度.

熊谷 圭二郎

2 学術論文

- 1) 熊谷圭二郎 (2022) 中学校におけるキャリア教育に関する研究動向 鳴門生徒指導学会第31号, 47-60.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本教育心理学会 理事
- 2) 日本教育カウンセリング学会 理事
- 3) 日本スクールカウンセラー協議会 理事
- 4) 日本学級経営心理学会 理事

5 社会貢献

- 1) 公益社団法人 神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度外部評価小委員会委員

6 講演, 放送

- 1) 2022.4.6 文京区湯島小学校 研修会「学級づくり」講師
- 2) 2022.6.16 町田市立真光寺中学校 研修会「QUの活用」講師
- 3) 2022.7.5 目黒区教育委員会 研修会「QUの見方と活用」講師
- 4) 2022.7.7 静岡学園高等学校 研修会「東日本大震災の体験から」講師
- 5) 2022.7.15 東京都立新宿高等学校 講演「東日本大震災の体験から」講師
- 6) 2022.7.21 座間市立相武台東小学校 研修会「学級集団づくり」講師
- 7) 2022.7.25 横須賀教育委員会 研修会「カウンセリング心理学に基づいた子どもとの関係づくり」講師
- 8) 2022.8.25 座間市立座間東中学校 研修会「学級集団づくり」講師
- 9) 2022.12.21 世田谷区代沢小学校 研修会「学級づくりのポイント」講師

7 学会等での活動

- 1) 日本教育心理学会 研究委員
- 2) 日本教育カウンセリング学会 編集委員
- 3) 日本学級経営心理学会 事務局
- 4) 日本スクールカウンセラー協議会 認定委員会副委員長

8 学内教育活動

- 1) 担当科目 (教育原論, 現代教職論, 生徒指導論, 教育課程論等) の教材作成
- 2) 実践教育センターでの教育活動

9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービス委員
- 2) 実習センター運営委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) なし

11 学内研究助成金の受託

- 1) 熊谷圭二郎 「ヒューマンサービスにかかわるミドルリーダーの役割意識等について」
研究助成B（奨励研究）助成金 283,284 円 2022年6月1日～2023年3月31日

佐竹 弘行（大学院保健福祉学研究科兼務）

5 社会貢献

- 1) 三浦学苑高等学校の学生に対し、ヒューマンサービスに関する内容を含めた大学説明会をオンラインで実施（7月19日）
- 2) オープンキャンパスにおける人間総合科の紹介を行う部屋の運営等を担当（8月6日、7日）
- 3) うみかぜ祭における来場者に対応する業務の支援（10月30日）

8 学内教育活動

- 1) **化学概論**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．学生に対してリアクションペーパーを実施．）（全学科対象，前期，**科目責任者**）
- 2) **基礎有機化学①**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．学生に対してリアクションペーパーを実施．）（栄養学科対象，前期，**科目責任者**）
- 3) **基礎有機化学②**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．学生に対してリアクションペーパーを実施．）（栄養学科以外の学科対象，前期，**科目責任者**）
- 4) **基礎有機化学実験①**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．対面による学生との対話を適宜実施．）（栄養学科対象，前期，**科目責任者**）
- 5) **基礎有機化学実験②**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．対面による学生との対話を適宜実施．）（栄養学科以外の学科対象，前期集中，**科目責任者**）
- 6) **文献検索とクリティーク**（学生に対してリアクションペーパーを実施．文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導．）（社会福祉学科（Aクラス）対象，後期，クリティーク部分を担当）
- 7) **英語（保健医療福祉のための英語Ⅱ）①**（学生に対してリアクションペーパーを実施．文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導．）（看護学科（Aクラス）対象，後期，**科目責任者**）
- 8) **英語（保健医療福祉のための英語Ⅱ）②**（学生に対してリアクションペーパーを実施．文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導．）（看護学科（Bクラス）対象，後期，**科目責任者**）
- 9) **物理学**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．対面による学生との対話を適宜実施．）（全学科対象，後期，**科目責任者**）
- 10) **薬の基礎科学**（自作の補助教材（プリント）等を適宜使用．学生に対してリアクションペーパーを実施．）（全学科対象，後期後半，**科目責任者**）

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会（自己評価専門部会委員担当）（通年）
- 2) 地域貢献研究センター地域貢献部門（通年）
- 3) 研究委員会研究助成選考専門部会（通年）

14 その他

- 1) 人間総合科における E 会担当（科内の諸行事に関する管理）（通年）

- 2) 市立横須賀総合高等学校において大学説明を担当（3月13日）
- 3) 県立藤沢西高等学校において大学説明を担当（3月17日）

志村 華絵（大学院保健福祉学研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 米国内科学会（American College of Physicians; ACP）日本支部 Public Relations Committee 委員の活動として、ACP の学術誌 Annals of Internal Medicine の中の人気セクションである "In the Clinic" の翻訳プロジェクトチームメンバーとして、安定虚血性心疾患の章を分担翻訳した。
https://www.acpjournals.org/doi/epdf/10.7326/IsTranslatedFrom_AITC201908060_Japanese

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 米国内科学会（American College of Physicians; ACP）日本支部
 - ・Public Relations Committee 委員（2018年7月～2022年6月）
 - ・Physicians' Well Being Committee 委員（2022年7月～現在）
医師のバーンアウト予防に関する活動に関わっている。
- 2) 日本内科学会 認定指導医、認定総合内科専門医、認定内科医
資格認定試験（認定内科医・総合内科専門医）病歴評価委員として総合内科専門医試験の病歴評価を行った。
- 3) 日本血液学会認定血液指導医、認定血液専門医
- 4) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 5) 日本輸血・細胞治療学会認定医
- 6) 日本医師会認定産業医
- 7) 日本救急医学会 ICLS（Immediate Cardiac Life Support）インストラクター
- 8) 難病指定医
- 9) 乳幼児食指導士

5 社会貢献

- 1) 神奈川県からの応援要請があり、神奈川県新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場で勤務した。福祉施設従事者、受験生、妊婦及びその家族を中心としたワクチン接種業務に携わった。
- 2) 長津田厚生総合病院 健診センター 非常勤医師
- 3) 神奈川県労働衛生福祉協会 健康診断業務に関わった。

6 講演、放送

- 1) 本学の大学説明会で人間総合科の模擬講義を行った（2022年7月9日）。

7 学会等での活動

- 1) 日本世代間交流学会 第13回全国大会にて口演発表した（2022年9月3日）。「世代間交流事業の参加者に対するコロナ禍以前の意識調査-with corona 時代へのメッセージとは-」

8 学内教育活動

2022年度 科目責任者担当科目

(社福2年) 医学概論

(リハ2年) 内科学Ⅰ、内科学Ⅱ

2022年度 担当科目

(栄養2年) 生体機能学実験

(リハ2年) 生理学実習

- 1) 社会福祉学科「人体の機能及び疾病」は、カリキュラム変更に伴い「医学概論」として大幅に内容を変更・更新した。
- 2) 日本プライマリ・ケア連合学会の総合医育成プログラムを通年で受講し、各分野の最新の情報を講義に反映させた。
- 3) 学生にモチベーションを維持し興味を持ってもらえるよう、教科書の知識のみならず実際の臨床現場での経験を講義内容に含めるようにした。
- 4) 講義内容には、当該分野の過去の国家試験出題内容を反映させた。重要事項を中心に講義終了5分を小テストにし、次回講義で内容の解説をして復習に役立てやすいように工夫した。講義ごとにリアクションペーパーで学生の理解度を把握するよう心掛けた。寄せられた質問には、毎週講義内で回答した。
- 5) オムニバスの講義(看護学科2年生 疾病と治療Ⅰ)については、オンライン講義を利用して臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者(各科目の専門医・指導医かつ研究者)に講義を依頼し、学生の聴講の機会を作った。新型コロナウイルス感染症患者を日常的に診療しておりオンライン授業でなければ依頼出来なかった講師もあり、学生にとってはコロナ禍ならではの新たなチャンスが増えたと言える。

9 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援ワーキンググループ委員 自己評価委員
- 2) 時間割編成ワーキンググループ委員
- 3) 20周年記念事業企画ワーキンググループ委員
20周年記念事業の準備を行った。寄付金石碑記念品チームとしてクラウドファンディングで寄付金を集め、キャンパス内に石碑を設置した。2022年12月27日の20周年記念式典に向け準備を進め、当日は舞台係で会の運営に関わった。
- 4) 研究倫理審査委員会 アドバイザー
医学的な内容を含む研究の倫理審査につき、医師として助言を行った。
- 5) 2022年度共通試験テスト監督
- 6) 入学式係
当日式の運営に関わった。
- 7) 2022年度1年生チューター
学生の大学生活をサポートした。

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 「幼老複合施設における世代間交流が高齢者に与える医学的効果の検討」文部科学省科

学研究費 若手研究（小区分 52010:内科学一般関連）

11 学内研究助成金の受託

- 1) 令和4年度学長推薦研究費，2,500千円，2022年7月19日～2023年3月31日

「事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～」

渡邊 恵，長島 俊輔，加藤木 真史，佐々木 杏子，森 朱輝，水戸 優子，藤田 峰子，長山 洋史，池田 公平，黒澤 千尋，五味 郁子，樋口 良子，福岡 梨紗，玉川 淳，高橋 恭子，岸川 学，志村 華絵.

福田 平 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Shibasaki I, **Fukuda T**, Ogawa H, Tsuchiya G, Takei Y, Seki M, Kato T, Kanazawa Y, Saito S, Kuwata T, Yamada Y, Haruyama Y, Fukuda H. Mid-term results of surgical aortic valve replacement with bioprostheses in hemodialysis patients. *IJC Heart & Vasculature*. 2022; 40: 101030.
- 2) **Fukuda T**, Nakajima T, Yazawa H, Hirose S, Yokomachi J, Kato T, Nishikawa R, Koshiji N, Tokura M, Nasuno T, Nishino S, Obi S, Shibasaki I, Kanaya T, Nakamura F, Fukuda H, Abe S, Sakuma M, Toyoda S. Relationship between the serum GDF-15 concentration and muscle function in female patients receiving aortic valve replacement (TAVR, SAVR): Comparison with healthy elderly female subjects. *IJC Heart & Vasculature*. 2022; 40: 101032.
- 3) Shibasaki I, Nakajima T, **Fukuda T**, Hasegawa T, Ogawa H, Tsuchiya G, Takei Y, Tezuka M, Kato T, Kanazawa Y, Kano Y, Kuwata T, Ouchi M, Toyoda S, Aso Y, Fukuda H. Serum and adipose dipeptidyl peptidase 4 in cardiovascular surgery patients: Influence of dipeptidyl peptidase 4 inhibitors. *J. Clin. Med.* 2022, 11, 4333. [https:// doi.org/10.3390/jcm11154333](https://doi.org/10.3390/jcm11154333).
- 4) Nishikawa R, **Fukuda T**, Haruyama A, Shibasaki I, Yamaguchi S, Arikawa T, Obi S, Amano H, Yagi H, Sakuma M, Abe S, Fukuda H, Toyoda S, Nakajima T. Association between serum GDF-15, myostatin, and sarcopenia in cardiovascular surgery patients. *IJC Heart & Vasculature*. 2022; 42: 101114.
- 5) Ishizaka H, Nakajima T, **Fukuda T**, Hirata M, Arakawa T, Doolittle J, Munatones S, Hirose K, Yamasaki M, Oguri A, Mizushima T, Toyoda S, Sato Y. Amputated upper/lower limb rehabilitation: Application of KAATSU training. *Int J KAATSU Training Res.* 2022; 18: 1-10.
- 6) Ishizaka H, Mizushima Y, Tezuka T, Uematsu A, **Fukuda T**, Mizushima T, Toyoda S, Nakajima T. Respiratory and circulatory responses during low-intensity resistance exercise training using a KAATSU device in male patients with cardiovascular disease. *Dokkyo Medical Journal*. (in press)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会 認定総合内科専門医、認定内科医
- 2) 日本循環器学会 認定循環器専門医
- 3) 日本心臓リハビリテーション学会 認定心臓リハビリテーション指導士
- 4) 日本医師会認定産業医
- 5) 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
- 6) 日本心臓病学会
- 7) 日本体力医学会
- 8) 日本臨床運動療法学会
- 9) 日本臨床スポーツ医学会
- 10) 日本臨床生理学会
- 11) 日本病態栄養学会
- 12) 日本トレーニング科学会

5 社会貢献

- 1) 地域在住者のサルコペニア及びバイオマーカーに関する獨協医科大学との共同研究
- 2) 獨協医科大学（心臓血管内科/循環器内科）の大学院生の学位の指導
- 3) 高大連携出張授業（厚木商業高校）

6 講演、放送

- 1) 2022年度神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス公開講座（秋期）講演（2022.10.22, 神奈川）フレイル及びサルコペニア判定と予防. 福田平

7 学会等での活動

- 1) 第41回日本臨床運動療法学会学術集会（2022.9.3-4, 東京）心臓血管外科手術を受ける患者における血清GDF-15、ミオスタチンとサルコペニアとの関連. 福田平、西川理彦、春山亜希子、柴崎郁子、山口すおみ、有川拓男、小尾正太郎、天野裕久、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、福田宏嗣、豊田茂、中島敏明
- 2) 第70回日本心臓病学会学術集会（2022.9.23-25, 京都）心臓血管外科患者における血清GDF-15、ミオスタチンとサルコペニアとの関連についての検討. 西川理彦、中島敏明、福田平、春山亜希子、柴崎郁子、有川拓男、小尾正太郎、天野裕久、佐久間理吏、阿部七郎、福田宏嗣、井上晃男、豊田茂
- 3) 第7回日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部地方会（2022.10.8, 東京Web開催）心臓血管外科手術患者の術前血清GDF-15、ミオスタチン濃度とサルコペニアとの関連について. 福田平、西川理彦、春山亜希子、柴崎郁子、山口すおみ、八木博、福田宏嗣、豊田茂、中島敏明（優秀演題賞受賞）
- 4) 第59回日本臨床生理学会総会（2022.10.21-22, 東京）サルコペニアのマーカーとしてのGDF-15、ミオスタチン—心臓外科術後患者における検討—. 西川理彦、中島敏明、福田平、春山亜希子、柴崎郁子、山口すおみ、有川拓男、小尾正太郎、天野裕久、八木博、佐久間理吏、阿部七郎、福田宏嗣、豊田茂
- 5) The American Heart Association (November 5-7, 2022 A virtual experience) Increased Nprilysin Expression Links Atrial Fibrotic Remodeling in Cardiovascular Surgery Patients. Toshiaki Nakajima, Akiko Haruyama, **Taira Fukuda**, Kentaro Minami, Syotaro Obi, Shu Imai, Masashi Sakuma, Shichiro Abe, Ikuko Shibasaki, Hirotsugu Fukuda, Shigeru Toyoda.
- 6) 第87回日本循環器学会学術集会（2023.3.10-12, 福岡）Increased Nprilysin Expression Links Atrial Fibrotic Remodeling in Cardiovascular Surgery Patients 中島敏明、春山亜希子、福田平、南健太郎、小尾正太郎、伊波秀、天野裕久、有川拓男、佐久間理吏、阿部七郎、柴崎郁子、福田宏嗣、豊田茂
- 7) 第87回日本循環器学会学術集会（2023.3.10-12, 福岡）Usefulness of Sarcopenia Diagnosis Using Femoral Anterior Muscle Thickness in Patients with Cardiovascular Disease 横町淳、中島敏明、福田平、山口すおみ、八木博、柴崎郁子、宇賀田裕介、佐久間理吏、阿部七郎、藤田英雄、福田宏嗣、豊田茂
- 8) 第87回日本循環器学会学術集会（2023.3.10-12, 福岡）Association between Serum GDF-15, Myostatin, and Sarcopenia in Cardiovascular Surgery Patients 福田平、西川理彦、春山亜希子、柴崎郁子、山口すおみ、有川拓男、小尾正太郎、天野裕久、八木博、佐久間理吏、阿

部七郎、福田宏嗣、豊田茂、中島敏明

9 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会（衛生医）
- 2) 教授会（横須賀）
- 3) 広報委員会委員
- 4) 卒業式・修了式実行委員会委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 基盤研究（C）、高齢化社会における GDF-15 を規定する因子の解明とサルコペニアの予防法の開発、福田平，中島敏明，松本晃裕、4,420,000 円（2020 年 4 月 - 2023 年 3 月）。

高橋 和子

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本医学英語教育学会評議員（通年）

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学医学部英語非常勤講師（通年）
- 2) 東京大学教養学部英語非常勤講師（通年）

6 講演，放送

- 1) シンポジウム発表：桐蔭横浜大学「桐蔭医用工学国際シンポジウム 2022」（英語）「Roles of inhibitory Fc receptor FcγRIIB on the peripheral B cell tolerance II」Kazuko Takahashi, Mareki Ohtsui, Kenichi Mitsui, Yo Kodera, Sachiko Hirose, Sjeff J.Verbeek, and Hiroyuki Nishimura（2022年11月）

7 学会等での活動

- 1) 日本医学英語教育学会評議員として日本医学英語検定試験の運営に貢献した。（通年）

8 学内教育活動

- 1) 英会話 I（前期）4クラス
- 2) 英語講読（前期）
- 3) 保健医療福祉のための英語 I（後期）
- 4) 保健医療福祉のための英語 II（後期）2クラス
- 5) 免疫学（後期）
- 6) 文献検索とクリティーク（後期）
- 7) チューター（通年）
- 8) 留学，英語資格試験等の相談に応じた。（通年）

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会委員（通年）「うみかぜ祭」実施等.
- 2) 図書委員（通年）「附属図書館リニューアル・キックオフミーティング」実施等.
- 3) 国際協働専門部会委員（通年）「横須賀米海軍病院見学プログラム」（コロナ禍により休止中），「留学生入学時オリエンテーション」「国際的に活躍する卒業生のセミナー」，「留学生との交流会」等.

14 その他

- 1) 本学教育研究活動のための英語文章制作支援、通訳支援に努めた.